様　式　Ｃ－７－１

平成２８年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1．機関番号　3 2 6 0 4

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(A)（一般）

4．研究期間　平成２７年度～平成３０年度

5．課題番号　1 5 H 0 1 7 6 3

6．研究課題名　人が生育する限界的環境に於ける発育発達(生活技術の発達を含む）と成熟の総合的研究

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 1 1 4 0 4 6	オオサワ　セイジ 大澤　清二	人間生活文化研究所	所長

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
3 0 2 5 5 1 7 9	ナカニシ　ジユン 中西　純	国際武道大学・体育学部	教授
5 0 7 6 0 8 5 7	ニモンジヤ　シュウ 二文字屋　脩	京都文教大学・総合社会学部	教務補佐
6 0 3 2 2 4 3 4	シモダ　アツコ 下田　敦子	人間生活文化研究所	講師

9．研究実績の概要

この研究は人の身体発育発達の諸相を人類が狩猟採集時代から現代までに辿ってきた社会の発展段階に添って探求しようとしている。ここではGoldschmidtのMan's Wayモデルに仮設的に対応させて以下のA～Gのプロジェクトを設け、子供の身体発育発達の多岐に亘る項目のデータを現地調査により収集している。28年度は4年間の研究期間の2年目に当たり当初の研究計画に添ってプロジェクトB、C、D、Fに焦点を当てた調査と測定を行った。28年度は昨年度ネパールで起きた地震によって不完全にしか遂行できなかったプロジェクトC、Dに関しての補充調査を含めて実施した。またプロジェクトA、E、F、Gについても補充調査を含めてデータの充実を図ることができた。
A.アンダマン海を漂海し原始的生活をするモーケン、B.20年前に移動・狩猟採集生活から定住生活に移行したタイのムラブリ、C.17世紀にチベットから移住した牧畜・農耕民ボーティア、D.ヒマラヤ高地のシェルパ、E.外部世界から離れたミャンマー・カヤー州山地のパダウン（カヤン）、F.都市的世界における特殊環境の上座仏教の少年僧、G.文明化、情報化が進んだ都市人。なお調査項目は以下のようである。
①生育環境・ライフスタイル（食事、衣服、育児の慣習、通過儀礼、人体変工等）②形態発育（身長、体重、皮下脂肪厚など人類学的計測項目）③機能発達項目：微細筋・粗大筋等運動機能42項目（例、鉛筆削り、木登り、閉眼片脚立ち等）、生活技術28項目（衣服着脱、調理、火おこし、操船等）④その他走、跳、投能力、筋力、肺機能、視力、聴力、泳力、書字力等民族の特徴に応じた体力・基礎運動能力等⑤性成熟項目（初経、精通年齢等5項目）
これらの研究活動は全て従来研究者が立ち入ることが難しかった地域で行っているものであって、この研究で蓄積しつつある調査データは非常に貴重なものである。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

10. キーワード

(1) 狩猟採集民	(2) 身体発育	(3) 身体発達	(4) 生活技術
(5) 限界的環境	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの進捗状況

（区分）（2）おおむね順調に進展している。

（理由）

本年度の調査に当たってはいずれのプロジェクトも事前に研究協力者･補助員の研修を行い、データ収集後は現地にてデータの確認と入力作業を行った。28年度は4年間の研究期間のうちの2年目であるが、計画通り上記「概要」に示したプロジェクトB、C、D、Fに焦点を当てた調査と測定を行ったが、特に昨年度ネパールで起きた地震によって不完全にしか遂行できなかったプロジェクトC、Dに関しては昨年度の補充調査を含めて実施することが出来た。また、プロジェクトA、E、F、Gについても補充調査を含めてデータの充実を図ることができた。

12. 今後の研究の推進方策

（今後の推進方策）

これまでにこの種の調査としては世界最大級のデータセットを蓄積しつつある。少数民族であるアンダマン海のモーケン人児童については300名以上を、ムラブリ人児童については民族の半数以上の調査データを収集したことは特筆できる。またミャンマー最深部のパダウン人のデータも400名となった。これもひとえに現地政府の協力が得られたからであり、非常に大きな成果が上がりつつある。さらに、今後もミャンマーの協力機関の協力を得てデータの充実・蓄積をはかる予定である。
また蓄積したデータをもとに幼児期ら青年期に至る発育発達データについて項目ごとに発達関数を求め、生育環境との関係についての考察を行うと共に研究班全体を総合した分析、解釈、考察を行う。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

13.研究発表（平成２８年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計（３）件／うち査読付論文　計（１）件／うち国際共著論文　計（０）件／うちオープンアクセス　計（２）件

著者名	論文標題
大澤清二、下田敦子	国際保健統計かたみた肥満・やせの評価

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
子どもと発育発達	無	14	2016	238-244	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

著者名	論文標題
二文字屋脩	終わらない開発 ―ポスト遊動狩猟採集民ムラブリの開発をめぐる現状分析―

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
東南アジア研究	有	54	2017	205-236	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
10.20495/tak.54.2_205

オープンアクセス
オープンアクセスとしている（また、その予定である）

著者名	論文標題
下田敦子	項目反応理論を用いた生活技能構造の計量的研究

雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
日本家政学会誌	無	68	2017	139-148	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
10.11428/jhej.68.139

オープンアクセス
オープンアクセスとしている（また、その予定である）

〔学会発表〕　計（５）件／うち招待講演　計（０）件／うち国際学会　計（０）件

発　表　者　名	発　　表　　標　　題	
大澤清二、下田敦子、ウユンギリ	最適なトレーニングの時期をめぐる身長発育と筋力発達のピーク時期の関係―アジア諸民族の場合―	
学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
日本発育発達学会 第15回大会	2017年03月18日～ 2017年03月18日	岐阜県 岐阜市

発　表　者　名	発　　表　　標　　題	
中西純、アチャヤウシャ、下田敦子、大澤清二	中位カーストにおけるベジタリアンとノンベジタリアンの発育の比較	
学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
日本発育発達学会 第15回大会	2017年03月17日～ 2017年03月17日	岐阜県 岐阜市

発　表　者　名	発　　表　　標　　題	
Usya Acharya, Binita Rai, Arati Timsina, Kamala Thapa, Jun Nakanishi, Atsuko Shimoda, Seiji Ohsawa	Development Process of Life Skills of Sherpa and Bhotia Children Residing in Highland Nepal	
学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
日本発育発達学会 第15回大会	2017年03月18日～ 2017年03月18日	岐阜県 岐阜市

発　表　者　名	発　　表　　標　　題	
下田敦子、大澤清二、タンナイン	項目反応理論を用いた生活技術伝承の計量的研究―無文字社会（Kayan）における原始機による衣服製作技術の学習順序性	
学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
日本発育発達学会 第15回大会	2017年03月18日～ 2017年03月18日	岐阜県 岐阜市

（課題番号： 15H01763 ）
（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

発　表　者　名	発　　表　　標　　題	
下田敦子、中川正宣、大澤清二	無文字社会―ミャンマー最深部カヤン人社会―における伝統衣服製作技術と習得過程の計量的研究	
学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所
日本衣服学会 第68回年次大会	2016年11月05日～ 2016年11月05日	東京都 千代田区

〔図書〕　計（1）件

著　者　名	出　版　社		
Atsuko Shimoda	Kasei Kyouikusya Publishing Co.		
書　　名	発行年		総ページ数
Body Modification / Ornamentation and Value System of Kayan Women ―Based on a 2013-2014 Survey of Current Lifestyle Condition in a Remote Region of Myanmar―	2 0 1 7		103

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕　計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（0）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

（課題番号： 15H01763 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

17.備考